

# 会報 わかくさの風

No.22

## 社会福祉法人戸田わかくさ会

〒335-0021 埼玉県戸田市新曽1522-1 わかくさ内

Tel 048-432-8198 Fax 048-432-8298 <http://www.wakakusa-kai.com/>

### 新型コロナウイルス感染症禍の中で問われる 社会福祉法人職員の役割

#### ～感染症の拡大の中で私たちは何をつかむか～

新型コロナウイルスが猛威を振るっています。法人では緊急事態宣言が発出されてから、統括施設長を本部長、管理職を本部長とする対策本部を立ち上げました。感染症予防対策を講じ、可能な限り利用者・相談者の日常を大事にしなから、そのためにどうしていくかを考え対策を取っています。

作業所は3密を避けながらどこまで利用者の支援が可能かを検討し、変則的ですが、継続的に利用できるようにしました。また、相談系事業所では、相談者の健康状態にも配慮し、電話での相談や可能な限り本人に会って相談する姿勢で取り組んでいます。利用者・相談者にご不便をおかけしてありますが、感染予防の一環ということでご理解をいただきたいと思えます。

このコロナ禍の中で、職員はどう対応したらいいのでしょうか？社会福祉事業の歴史を辿っていくと、社会的困難さがある時、その渦中で困っている人たちを支援す

る支援者は必ずいました。困難な時こそ、きちんと「寄り添う」ことが必要です。そこにいたのは、社会福祉の心を持つ人たちでした。また、私たちは医療従事者の奮闘している姿から学ぶことが多くあります。医療従事者として、ミッションを果たそうとする真摯な姿があります。私たちは社会福祉事業の一端を担っています。今、私たちに求められていることは、どのようなことでしょうか？

感染症予防対策を講じながら、一日も早く、利用者や家族、相談者の中には、「困っている」と声を上げることが難しい人もいます。このような人たちの状況も察し、対応する必要があります。

是非、皆さんに伝えたいことがあります。グループホームの利用者は、発熱などがあってもホームで過ごすことになりました。ホームは利用者の「暮らしの場」です。職員はそのような状態の利用者で

あってもいとわず支援しています。しかしコロナの関係で宿直職員が欠けることもあります。その後任として、法人内の他事業所の職員が日中の業務をこなしながら、宿直業務に入り、「安心して生活できる場」を守っています。また、職員がつてでマスクや感染時の防護服も十分確保することが出来ました。それぞれの持ち場で職員は頑張っています。

コロナ禍を通して、職員が5040で取り組んでいく姿、それは法人が目標とする姿でもあります。京都大学山中伸弥教授はコロナ禍について、次のように言っています。

「私たちが一致団結して正しい行動を粘り強く続けられれば、ウイルスとの共存が可能となります。自分を、周囲の大切な人を、そして社会を守りましょう！」

ウイルスに勝つではなく、共存していくことを強調しています。人類はウイルスとの闘いともいわれ、共存が求められます。このコロナ禍をマイナスと捉えずにそこから学ぶことが多くあります。困難な時こそ、獲得することが多くあることを確信して、法人が目指す福祉実践につなげたいと思います。

(統括施設長 竹嶋 紘)

# 令和元年 成人を祝う会



今年は、わかくさを利用して二名の方が成人を迎え、戸田市文化会館にて令和2年1月18日(土)に開催致しました。雪が舞う寒い日となつてしまいましたが、成人者の方は振り袖、スーツ姿で参加してくれました。いつもと違う装いもあつてか、少し緊張しているようにも見受けられました。

当日は、成人者のご家族、わかくさ、ゆうゆう、かがやきの利用者や、法人内職員を含め約百名の方が出席しました。また来賓として、戸田市長を始め、十名の方をお招きし、お祝いの言葉を頂きました。式典では、わかくさの利用者の方より今後の活躍と仕事を共に頑張っていこうという成人者の方へお祝いの言葉や、門出を祝し気持ちを込めて花束と記念品の贈呈がありました。

成人者の方々の誕生から成人までの歩みのスライドショーを上映しましたが、幼少時代の写真からその時の思い出や、わかくさでの普段とは異なる表情を垣間見ることができました。また、写真に合わせて前もってご家族から頂いていた情報をもとに、その時の様子についてスライドショーを通して、知ることができました。そして、

彩たまマジックの増永氏がお二人の門出を祝福し、マジックを披露して頂きました。出席者の中からマジックのお手伝いを依頼され、成人者の方だけでなく市長にもマジックに参加して頂く場面もありました。

成人という一生に一度の機会でもあり、ご家族の温かい愛情に包まれ育ってきた門出として、多くの参加者がお二人を祝福してくれていました。

成人を迎えられたお二人には、大人の仲間入りとして今後、今まで以上に輝いてご活躍してくれることを期待しています。

(成人を祝う会 石野)

## 令和2年度 主要人事

令和2年度の法人各事業所の主要人事は次の通りです。

○ 法人本部	統括施設長 竹嶋 紘
	事務長 吉川 洋一
	事務長補佐 小野寺 陽子
○ わかくさ	所長 浜田 知奈(新)
	所長代理兼サービス管理責任者 石川 丈
○ ゆうゆう	所長 鈴木利夫(兼任)
	副所長兼サービス管理責任者 上村 喜紀(新)
○ かがやき	所長 鈴木利夫(兼任)
	副所長兼サービス管理責任者 石野 恵子(新)
○ グリーングラス	管理者 竹嶋 紘
	サービス管理責任者 松岡 沙奈江
○ 戸田市障害者就労支援センター	所長 竹嶋 紘
○ みなみ	所長 酒井 正博
○ わかば	センター長 猪野 真由美
○ ひかり	センター長 高野 永

## 令和2年度新任職員紹介

### かがやき

前職は、金融機関に長く勤めておりました。学生時代に児童福祉を専攻していましたが、福祉の仕事に就くのは今回が初めてで、から学べるのが、楽しみです。

社会でも様々な捉え方をされている福祉業界について自分でも考え行動し、より良い環境をつくっていければと思っております。

私は戸田市出身で、戸田わかっさ会の存在は小さい頃から知っていましたが、残念ながら今まで触れ合う機会はありませんでした。

今回、採用いただく前に「わかっさ」「ゆうゆう」「かがやき」の3事業所へ見学に行かせて頂きました。各事業所それぞれ違った雰囲気ではありましたが、職員・利用者の方が皆明るく迎えてくださり、ここで一緒に過ごせたらいいな、と強く思いました。初めての事ばかりで不安ではありますが、

精一杯頑張りたいと思います。宜

しくお願い致します。

(かがやき 峯岸有美)

### ゆうゆう

これまで非常勤職員として6年、ゆうゆうで利用者の皆さんと一緒にどら焼きを作らせていただいております。

福祉の仕事に従事するのは初めてのことだったので、利用者の方皆さんから学ばせていただくこと、私自身元気を与えていただくことも大変多く、気が付けばあっという間に6年が過ぎていきました。

この度の採用で、今まで以上に多角的に皆さんと関われる機会がいただけただけなこと、有難く思っております。

不勉強なことも多く、ご迷惑をお掛けする事も多いかと思いが、精進して参りますのでご指導の程よろしくお願いいたします。また、今年度もゆうゆうのどら焼き、よろしくお願いいたします！

(ゆうゆう 熊谷裕美)

## 令和元年度中途採用職員紹介

### ひかり

2月より障害者生活支援センターひかりに配属になりました森田和雄です。

東京福祉専門学校を卒業後にさいたま市の知的障害児者入所施設で4年、墨田区の重度心身障害者施設で14年間勤務しました。

昔から体を動かすことが好きで、中学校時代に部活動で励んでいたバスケットボールを現在もクラブチームに所属し、月2日程度行い汗を流しています。

相談業務という仕事は初めての経験でまだわからないこと等知識が足りない部分が多くあると思いますが、諸先輩方のアドバイスを吸収し、また以前の仕事の知識を少しでも生かせるようにしていきます。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

(ひかり 森田和夫)

### みなみ

障害就業・生活支援センターみなみに令和2年2月に入社させて頂きました佐藤晴美と申します。

生まれてからずっと戸田市に住んでおりますが、あまり北戸田駅の方には足を運ぶことがなく暮らしてきました。

前職では就労継続支援A型・B型の支援員をしていました。

支援員として12年ほど仕事をしてきましたが、就業・生活支援の支援員は初めてです。一からのスタートなので、職場の皆さんにはいろいろとご迷惑をおかけしてしまえますが、できるだけ早く仕事を覚えられるよう頑張ります。どうか、長い目で見て頂けたらと思っております。

趣味は休日に温泉に行くことで、おすすめの所があれば教えていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

(みなみ 佐藤晴美)

## 2年目職員の意気込み

### 初心忘れず

入職して、はや1年が経ちました。この1年、多くの利用者や家族、職員の皆様に支えられて日々、励んでまいりました。

私の中で、入職当時から欠かさず意識していることがあります。それは、「利用者の方に歩み寄り気持ちを持たない」ということです。1年が経った今でも意識して励んでいます。時おり忙しさを理由に忘れかけてしまうことがあります。ですが、その気持ちは忘れることなく、意識をもって今後も励んでいきたいと思えます。

日々、目まぐるしく変わる日常ではありませんが、これからも、私



らしく笑顔で接していきたいと思っています。

(わかくさ 金田 海斗)

### 変化を感じ取れるように

振り返るとあつという間の1年間でした。学生の頃は朝から夕方まで授業に出て、その後にアルバイトの生活でした。身体的には現在のほうが楽なように感じましたが、精神的な疲労も考えるところ。現在のほうが大変だったのかなと思っています。

この1年間の途中で特に嬉しく感じた出来事は、利用者さんの変化を感じ取れるようになった事です。周囲の方とたまにぶつかってしまいう利用者さんがいるのですが、少しでも考え方が柔軟になったら生活しやすくなるのではないかと思います。会話の中で冗談を入れてみるようにしました。最初は、「えー」とわからない様子でしたが、「冗談だとわかる」と笑うようになり、最近では職員に冗談をいって、その冗談に自分で笑いながら話すまでになりました。

たった1年でこのような変化が起きたことがとても嬉しくなりました。今後も良い変化を感じ取れるよう支援していきたいです。

(わかくさ 穴井 市弥)

### 考え動くこと

ゆうゆうで働いて思ったことは、小さな事でも、常に利用者さんや御家族がどうしたら過ごしやすくなるかを皆で考える事の大切さです。会議の中で多くの時間を使っている話し合う事の重要性を学びました。

1年が経ち、利用者から色々な話をしてもらえようになりました。フラワーセンターの仕事にも慣れ、利用者とのコミュニケーションする時間を多く取れるようになってきました。

2年目は、自分でどうする事が良いか考え、より利用者との信頼関係を築いていきたいです。そして、新しい仕事も覚えていきたいと思っています。

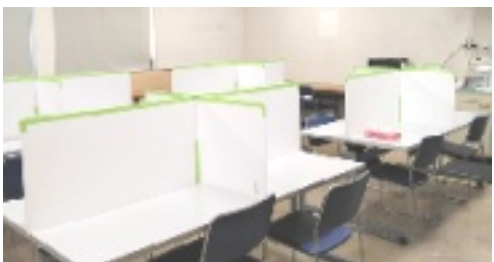
(ゆうゆう 田口 千紗)

## コロナに負けるな!

ゆうゆうで、コロナウイルス飛沫感染予防として、作業部屋・食堂などに、手作りの【仕切り】を設置しました。

プラスチック段ボールをホームセンターで購入し、机やテーブルに合わせて作成しました。仕切りは目線より高く作った為向かいの人の顔が見えないので不安になるかと思っていました。が見えない事により作業に集中している方が多く、作業効率も若干上がったように感じました。

(ゆうゆう 太田)



# 各事業所の取り組み

## わかくさ

### わかくさの今年度の取り組み



前回の「わかくさの風」にて「ガスメーターの分解作業に取り組む」ことをお知らせしました。4月から本格的に利用者さ

んの作業としてスタートしています。分解の行程は細かく、ドライバーやペンチなども使用することがありますが、簡単ではない分、参加する利用者さんたちのやりがいも大きいようです。「明日はガスメーターある?」「今日は納品よりガスメーターをやる」「ガスメーターの仕事は本当に楽しい」と言った声がさっそく聞かれています。

一方で、4月半ばには、新型コロナウイルスの影響によりボール作業、ウエス、スタートしたば

# ゆうゆう

## ステップアップに向けて

福祉作業所ゆうゆうでは、コロナウイルス感染予防の為、4月頃から自主的に自宅待機をされている利用者さんがいました。

和菓子製造の利用者さんは、納品先の休業により、ドラ焼きの注文数が減少してしまい午前中のみの製造となる日もありました。

そこで急遽、製造に携わる利用者さんは午後から室内作業に入り、いつもと違う作業をする中、今まで話す機会が少なかった利用者さん同士でいろいろなコミュニケーションが生まれていました。

他の作業でも、欠席している利用者さんの振替として室内作業の利用者さんが、いつもとは違う作業にチャレンジしました。その時に、利用者さんからは、「欠席している利用者さんの分まで頑張ろう!」「今度は、いつ参加するの?」「次の予定は?」などの声が聞か

れ、新たなチャレンジに向かってのモチベーションが上がる一つの要因になっていたようです。

コロナ対策で大変な中でも、見方を変えればいつもとは違う新しい作業へのチャレンジにも繋がり、一人ひとりが次のステップに向けてよい機会になったのではないのでしょうか。

ゆうゆうでは、一人ひとりが安心して自分の能力を十分発揮出来る様、我々職員がサポートしていく事が重要だと考えています。関係機関や事業所間での情報交換を密に行い、より繋がりを強くしていく必要があると感じています。

インフォーマルな支援を含めたサポート体制を整える事で、利用者・ご家族の手助けが出来る様に、我々職員が一丸となり取り組んでいきます。(ゆうゆう 梅田)



今年度も利用者のみなさんが、楽しく働き、のびのびと暮らすことができわかくさでありたいと思います。どうぞ応援よろしくお願ひします。(わかくさ 浜田)



4~5月頃の室内作業風景です

# かがやき

## 自分達のごことは、 自分達で決める！

かがやきでは、自治会活動に力を入れていきます。毎年選挙をおこない、会長・副会長・書記を選出しています。

自治会は、毎週金曜日に開いています。三つのグループに分かれ、それぞれのテーブルに職員がつくことで利用者一人一人の意見が聞き取れるようにしています。

話し合う内容は、かがやき内で困っていること、暑気払いやマイイベントなどの行事についてなど多岐にわたります。かがやきの玄



↑ 選挙の様子

関に「議題箱」というポストが設置してあり、話し合いたいことを投函することもできます。自分達でルールを決めることにより、皆で守っていくという風潮も生まれています。

先日は、「これから暑くなるので、ジャグ（給水タンク）を洗う係を決めたい」という意見がありました。その意見を言った方は、いつも自主的にジャグを洗っていてくれたのですが、職員も周りの利用者も好意に甘えて任せきりになっていました。さっそく自治会でみなさんに意見を聞き、話し合っているところです。

どんな些細な事でも「自分達で決める」という体験を積み重ねることで意思を発信する習慣を身につけ、社会へ出た時の力にしてもらいたいと思います。

(かがやき 山内)

# グリーングラス

## 昨年度の振りかえりと 今年度の取り組み

昨年度は新規グループホームの設置に向けて市内の物件を検討しましたが、新設には至りませんでした。引き続き今年度も検討していきます。

今年度新たな(?)目標としてまずは、ご家族からの要望もあり、グリーングラス下笹目の週末開所を再開して、継続して行えるように検討しています。目下体制を整えるために、宿直職員の求人のほか、法人内の他事業の職員にも宿直の協力をお願いしています。そして、利用者のご家族にも支援をして下さる方を募集しています。皆さんの協力を得て、土曜日開所が継続できるようにします。

次に、サテライト型ホームを設置して三年が経過します。現在の入居者二人とももう少し利用したいと、今回継続の申請をしました。サテライトホームは地域で暮らす準備をする場所なので、卒業後も地域で安心して暮らせるよう、サブリース（転貸）方式の検討や障害福祉サービスの「自立生活援助」

の設置について、新たに検討しています。

入居者の支援に関しては、

昨年度、皆さんの「三ホーム合同レクリエーションをしたい」という希望を受け、



鉄道博物館へ行きました。当日は、ボランティアの力を借りて、新旧の電車を見て回り、好きな駅弁を選んで食べました。自分や家族へのお土産を買う方もいて、楽しんでいただけただけです。その日仕事だった入居者も、「行きたかった、今度は（仕事の）休みの日に企画してほしい」と話していました。今年度も皆さんの希望を取り入れながら、楽しくて『ほっとできる家、自分で決めて自分でつくる暮らし』を支えていきます。

このように、ホームは課題・目標がたくさんあります。課題、目標の実現に向けて職員一丸となつて取り組んでいきますので、皆さんの叱咤激励、応援のほど、どうぞよろしく願います。

(グリーングラス主任)

兼サービス管理者 松岡)

# わかば・ひかり

## ひかりの名称変更と移転

指定特定相談支援事業所ひかりは平成27年11月に戸田市の指定を受け、計画相談を専門に行う事業所として開所し、約4年間で200名以上の方に利用いただいておりますが、昨年10月より新たに戸田市障害者等相談支援事業を受託することになりました。

これに伴い、名称を「障害者生活支援センターひかり」に変更し、事務所を戸田公園駅近くに移転しました。新しい住所・連絡先は以下のとおりです。

戸田市本町2の16の3  
 ハイツヨシタカ107  
 TEL 048(229)7038  
 FAX 048(229)7065

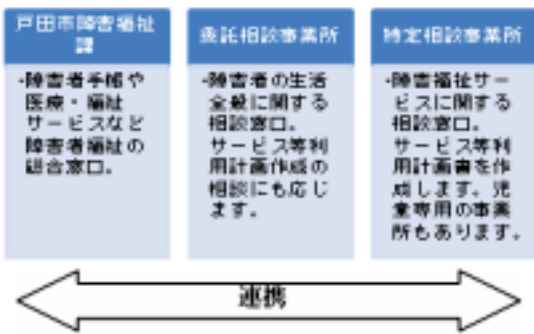
計画相談については、引き続き戸田市内全域を対象としていますが、市委託の相談事業としては主に、喜沢南・下前・川岸・本町・南町・戸田公園・新曽南地区にお住いの方を担当します。

戸田市内には、市委託の相談事業所として「障害者生活支援センターわかば」、「戸田障害者相談

支援事業所つばさ」があり、障害のある方やそのご家族の生活上の困りごと全般に関する相談に応じたり、特定相談支援事業所の相談員と連携して福祉サービス以外の相談に応じたり、戸田市自立支援協議会に参加して地域課題への取り組みを行ったりしています。

ひかりも新たな事務所を拠点に、市委託の相談事業所として障害のある方やそのご家族の相談に丁寧に対応していくとともに、地域の皆さまに受け入れられ、共に誰もが安心して暮らせる街づくりに貢献していきたいよう努めていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(ひかり 高野)



## 戸田就労C・みなみ

### 相談者の皆さんと一緒に

### コロナを乗り越えて

新年度が始まりましたが、4月7日の新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて様々な活動の自粛と今後に向けた支援を模索しています。

#### ◆相談者への影響

相談者の方にも影響が出ています。ある特別支援学校の卒業生は4月からの就職を楽しみ



にしていたましたが、4月から就職はできたものの自宅待機となり、まだ1日も出社できていません。みなみの相談者で確認のできた中で50名以上の方が休業や自宅待機や勤務時間や日数の短縮をしています。また、飲食店やドラッグストア、スーパー等の小売店、医療・介護施設で働いている方は不安を抱えながらも感染防止対策をとり働き、社会を支えている方もいます。本当にみなさんには頭が下がります。早くこの状況が落ち着き、

いままでの日常が戻ることを切に願います。

#### ◆今年度の取り組み

今年度のみなみの事業計画では、新たに企業の現場担当者向けの連絡の開催やサロン活動をより当事者主体としたピアサポート活動に位置付けた取り組み、来年度新たに戸田市に開校される南部地域特別支援学校（仮称）の進路に関する体制構築を考えています。

戸田市障害者就労支援センターの事業計画では月1回の土曜開所による相談体制、精神障害のある方を対象にした楽々（らくらく）サロンを月1回の開催、戸田市障害福祉課と連携した就職活動の相談を行う就労相談会を隔月の実施予定です。

5月時点で6月に実施予定であった良暇余暇サロンを中止するなど、コロナウイルスの影響で今年度の見通しが立たない中ですが、相談者のみなさんと一緒にこのコロナ禍を乗り越えていきたいと思っております。

(みなみ 酒井)



# 表現活動



## 「緑色」の葉っぱは何色か？

無数の「緑色」とは・・・

例えば、日本の伝統色を紹介する本を開くと、青柳（あおやぎ）、山葵色（わさびいろ）、花葱（はなもえぎ）、若葉色（わかばいろ）などなど・・・とてもたくさん「緑色」が載っています。

わかくさの利用者の方の中に、散歩に行くたびに樹木から葉っぱをちぎって、持ち帰ってくる人がいます。この利用者は、「好き」とか「嫌い」といった自分の気持ちを言葉で表現することはできませんが、道に生えている葉っぱをよく見て、「好き」な葉っぱを選んでわかくさに持ち帰ってきます。好きなものに対して「見つけて」「選んで」「折って」「持ち帰って」「楽しむ」という積極的な行為は、この利用者の極めて主体的な表現活動です。

緑色の葉っぱは、「緑色」という単語を習得している人が見ると「緑色」です。しかし、本当は、緑色の葉っぱは単なる「緑色」ではありません。緑色の葉っぱは、無数の「緑色」が複雑に絡まって構成されているのです。

あるいは、画材店で油絵具の売り場に行くと、コバルトグリーン、ディーブ、ビリジャンヒュー、カドミウムグリーンライト、パーマネットグリーンパール・・・といったたくさん「緑色」が見つかります。

散歩中に木から葉っぱをちぎって、それを持ち帰ってくる・・・そんな積極的で主体的な行為をしているこの利用者の眼には、一体どれほどたくさんの「緑色」が映っているのでしょうか。

この葉っぱを、私たち職員もじっくりと眺めるよう心掛けたと思います。それは間違いなく有意義な時間になるはずです。  
(わかくさ清水)

## 予定

### ◆戸田市障害者就労支援センター「就労相談会」

日付…8月21日（金）

10月16日（金）

12月18日（金）

※開催場所等詳細はセンターにお問い合わせください。

問合せ…障害者就労支援センター

048・471・9333

### ◆各行事の実施について

新型コロナウイルスの対策により今年度の公開研修、わかくさ会まつりは中止を予定しています。また、各事業所の行事の実施について検討しております。開催案内はホームページに掲載していきます。

### 広報発行について



今年度より広報取り組みを新たにし、この『わかくさの風』の7月と1月の年2回の発行にいたします。合わせて、ホームページやFacebookを通じた情報発信のさらなる充実を図っていきます。是非ご覧ください。

### （編集後記）

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除されましたが、今後第2波、第3波も予想されています。戸田わかくさ会の各事業でも引き続き、感染症対策に注意をしていきます。このような緊急時にはいつも社会的弱者はより大きな影響を受けます。新たな生活様式への取り組みながらも、いつもの日常が戻ることを切に願います。  
(酒井)

### （法人の運営する事業所）

わかくさ、福祉作業所ゆうゆう、福祉作業所かがやき、グリーングラス、障害者生活支援センターわかば、障害者生活支援センターひかり、障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センターみなみ、

（ホームページはこちら）

<http://www.wakakusa-kai.com/>

facebookもやっています



### 【発行】

社会福祉法人戸田わかくさ会  
〒335-0021 戸田市新曽1522-1  
TEL 048-432-8198 FAX 048-432-8298